



不審者対応訓練を行いました



12日(金)、千葉県警察柏警察署生活安全課の皆様を講師にお招きして、「不審者対応訓練」を行いました。この訓練は、生徒が危害を加えられることが無く、生徒全員が安全にすばやく避難できるようにするための訓練です。学校でこのような訓練を実施する理由は、平成13年6月に起きた事件です。大阪市内の小学校に刃物を持った不審者が侵入しました。そして、8人の児童が亡くなり、15人の児童と教員が大けがをしました。安全である学校で起きた、この大きな事件がきっかけになり、不審者に対する訓練や犯罪から身を守る訓練が学校で行われるようになりました。

訓練の目標は、①不審者侵入から110番通報・パトカー到着までの10分間を耐え抜くこと、②教職員は不審者の侵入をいち早く察知し、情報を共有し、生徒を守る行動をとること、③生徒は、教師の指示により、自分たちの身を守る行動をとることでした。一人一人が自分で考え判断し決定し行動すること、他者と協働して解決すること。そのためには、御教示いただいた「知識」や「訓練」がとても重要であると思われました。本日の訓練を振り返り、理想と現実の間にあるギャップを課題とし、命を守る取組を続けていきます。御多用の中、親身に御指導いただき、誠にありがとうございました。明原町会の皆様、御協力いただきまして誠にありがとうございました。

生活安全課の皆様より御指導いただいたこと

訓練でたいせつなこと4つ

- ①指示を聞くこと ②犯人を刺激しないこと ③勝手な行動をとらないこと ④近くにいる先生に知らせること

隙をつくらないために8つ

- ①歩きながらのスマホ操作やイヤホン装着をしない ②防犯グッズを活用する ③夜間の一人歩きをしない
- ④歩行中、移動中は周囲を警戒する ⑤エレベータでは知らない人と二人きりにならない 奥へ行かない
- ⑥直観を信じる 近づかない ⑦被害者・不審者を見かけたら知らせる
- ⑧SNSで知り合った人と会わない 個人情報流失させない

危険を回避するための合い言葉 **いかのおすし**

- いか：ついて行かない
- の：車に乗らない
- お：「助けて」と大声を出したり、防犯ブザーを活用する
- す：怖い思いをしたら大人のいる方にすぐ逃げる
- し：周りの人にすぐ知らせる

不審者を見分けるための合い言葉 **はちみつじまん**
※ステップ総合研究所が考案した子供の防犯合い言葉

- は：しつこく話しかけてくる人
- ち：<くんくん近づいてくる人
- み：じっと見つめてくる人
- つ：後をいつまでもついでくる人
- じま：じっと待っている
- ん：こんな人に会ったら「んっ?」注意